



コンテンツ一覧

- ◆ 病院長より…………… 1
- ◆ 産学連携・共同研究のご報告…………… 2
- ◆ 医師等職員異動のお知らせ…………… 1

◆ 病院長より～開院6年目を目前に～◆

雪深い会津にもやっと春が来ました。鶴ヶ城の桜も丁度見頃となっておりますが、皆様、お元気で過ごして
しょうか。昨年度は、皆様からの厚いご支援のお陰で、入院・外来ともに開院以来最高の受診者数を記録し
ました。また、秋に開催したあいづ健康ふれあいフェスタ2017には千名以上の地域の皆さんにご来院頂き、
医療体験コーナーや健康セミナー、健診コーナーなども大変な盛り上がりでした。さらに、河東中学校音楽部
の皆さんによる素晴らしい合唱、キャナルEASTと湯川舞フレンズによる「よさこい演舞」、オリンピックマラソンメ
ダリスト有森裕子さんの講演など、素敵な出し物も数多くありました。特に、小さなお子様を連れ、ご家族で
来院された方が多く、院内も一気に明るくなり、私にとっては最も嬉しいことでした。

今年の5月で会津医療センターも6年目を迎えます。これまでの5年間を第一ステージとすると、第二ステ
ージ5年目の最初の年になります。これを区切りに、これまで5年間頑張ってくれた大田副院長（血液内科教
授）と三瀧副院長（漢方内科教授）に代わり、白土教授（整形外科・脊椎外科）と鶴谷教授（循環
器内科）に副院長をお願いし、私と松本副病院長（看護部長）を加えた4名で、会津医療圏の更なる充
実に向け病院を盛り上げて行こうと思っています。地域の皆様のご支援を引き続き宜しくお願い申し上げます。

副センター長兼附属病院長 棟方 充

◆ 医師等職員異動のお知らせ（一部抜粋）◆

【新任】

所属	氏名	備考
副病院長（総務担当）	白土 修	整形外科・脊椎外科
副病院長（業務担当）	鶴谷 善夫	循環器内科
糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科	本田 和也	
感染症・呼吸器内科	力丸 真美	
消化器内科	中島 勇貴	
消化器内科	吉田 栄継	
消化器内科	山元 勝悟	

所属	氏名	備考
外科	遠藤 浩太郎	
大腸肛門外科	高柳 大輔	
整形外科・脊椎外科	富永 亮司	
整形外科・脊椎外科	波入 雄大	
耳鼻咽喉科	小野 美穂	
漢方外科	加用 拓己	

【退職等】

旧所属	氏名	備考
歯科	佐藤 文康	
漢方外科	古田 大河	
消化器内科	入澤 篤志	
消化器内科	阿部 洋子	

旧所属	氏名	備考
小腸・大腸・肛門科	隈元 謙介	
感染症・呼吸器内科	河俣 貴也	福島県立医大へ
外科	渡部 晶之	福島県立医大へ
整形外科・脊椎外科	草野 敬悟	福島県立医大へ

外科学講座添田暢俊先生×株式会社会津ラボ

ガンマ計算の為の
シンプルな計算機

医療従事者向け計算機アプリ『ガンマ計算』（iOS版）提供
～スマホで簡単操作、投与量計算が可能に～



医療現場では、救急、外科、循環器系、麻酔科などの多くの医師が、計算機を使用して薬剤の投与速度を算出しており、その多くの場合、スマートフォンの計算機を使っているのが現状です。

そこで、株式会社会津ラボが、簡単に薬剤投与量を計算できる計算機アプリ『ガンマ計算』（iOS版）を開発しました。会津医療センターは本アプリの計算フローや専門用語などについて医学的専門情報および知見を提供いたしました。

医療従事者は、このアプリに患者様の体重・薬量・希釈液量などの必要な情報を入力するだけの簡単な操作で、投与速度を算出できるようになります。また、主要薬剤の解説や、過去に行った計算の履歴閲覧機能も備えており、患者様の治療に大きく役立ちます！

※ガンマ値＝単位体重、単位時間あたりどのぐらいの薬剤を使用しているかを示す薬剤の投与とスピードの単位。

小腸・大腸・肛門科学講座富樫一智先生×会津大学先端情報科学研究センター

大腸内視鏡画像のポリープの自動検出技術
～医療現場でのAIの活用～



本研究は、大腸内視鏡において約25%のポリープが見落とされているという現状を背景に、診断精度の向上、医師の負担軽減を図るために始まりました。

当センターの大腸内視鏡画像を用い、会津大学がAIにポリープの特徴を学習させることで、大腸内視鏡画像のポリープの自動検出技術を開発しました。ポリープ有無の識別精度は97%という非常に高い結果となりました。

今後はこの技術を臨床に生かすべく、ポリープの種類別の分別（悪性か良性か等）や、リアルタイムでの自動検出技術の開発などの研究に引き続き取り組んでいきます。なお、この研究は平成30年度の文部科学省科学研究費補助金にも採択されました。

整形外科・脊椎外科学講座白土修先生×United Biomech Japan株式会社



脊椎固定インプラント国内製造販売承認取得
『New TRENDスパイナルシステム(K.O.S.A)』

当センターの整形外科・脊椎外科学講座の白土修教授が考案し、United Biomech Japan株式会社との産学連携により開発した脊椎固定インプラントが、国内で製造販売するための薬事承認を取得しました。

本製品は、腰部脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアなどの治療に使う背骨固定のためのネジです。日本人の体格にあわせて部品を小さく改良し、手術時間の短縮と患者様の負担軽減のためにネジの形状を工夫しました。また、固定する力が強まったことで、器具が抜けやすい骨粗鬆症の患者様にも使うことができます。今後、全国の医療機関において用いられることを期待しています。

会津医療センター初！
薬事承認取得案件

放射線部菅野朋史技師×伏見製薬株式会社



CT検査補助具「コロンマット」

この製品は、患者様の検査時の負担と放射線検査技師の検査作業の負担を両方も軽減するために開発されました。

具体的には、検査時に患者様がマットの上で「コロン」と回転するだけで体位変換が可能です。また、体位変換時のマットの着脱も不要です。そのおかげで、撮影時の患者様の体位維持や体位変換の負担が軽減されます。さらに、マットを検査台に貼り付ける等の作業が要らず、検査台に置くだけで使用可能なので、検査技師の作業負担も軽減します。なお、MRIやエックス線検査等にも使用でき、使用後は水洗いも可能です。

当センターでは、大腸CT検査時に本製品を使用し良好な腸管拡張画像を撮影できており、患者様の診断・治療に大きく役立っております。